



熊谷市の保健師活動指針作成 ワーキンググループ活動報告

8月20日（水）臨時コア会議を行いました

保健師活動指針は県内で19の市町で作成されていますが、作成方法や表現方法に取り決めはなく、それぞれで地域や組織の状況に合わせた形で作成されています。

適宜、ワーキングを振り返ると共に、作成方法やスケジュールを確認するため、管理期保健師と保健所でコア会議を持つこととしています。

今回は、地域保健課の管理期保健師と熊谷保健所でコア会議を行いました。

目指す成果物は、『2040年を見据えて、 新任期の保健師が考える、熊谷市の保健師活動指針』



©Kumagaya City

この2年、市は12人の新しい保健師を迎え、保健師の構成が大きく変わりました。また、今年度は保健分野の大きな組織改編がありました。

指針を作成することによって、保健師活動の方針や体制を統一するだけでなく、保健師活動を可視化すること、新任期を中心に、保健師同士が横のつながりを作り、連帯を強めることを目指しています。

そこで、今回の作成では、国の指針でも掲げられている”2040年”を意識しつつ、今後を担う新任期保健師を中心に検討することを確認しました。

コアメンバー以外の保健師にも、保健師アンケートを実施する他、適宜コア会議も開催し、成果物作成の支援をしていきます。

管理期の保健師の皆さんには、将来の保健師活動を担う、新任期の保健師がのびのび検討できるよう、検討の環境整備にご協力をお願いします！

小グループで 活動します

メンバーは小グループに分かれ、活動します。アンケート等、先輩方にもご協力をお願いします。よろしくお願いします。



住民への
インタビュー



関係機関の
支援者への
インタビュー

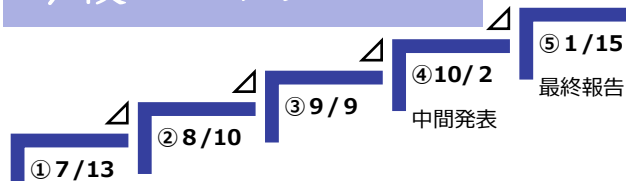


市保健師の
仲間への
アンケート



指針としてA4の
図にまとめる

今後のスケジュール



次回は9月9日（水）です。可能な範囲で先輩方にもご参加いただきたく、参加をご検討ください。ご参加が可能な場合は、榊保健師長にご連絡ください。